

# 第16回全国路面電車サミット 2024 宇都宮



## テーマ 「ライトラインから都市交通改革を全国へ」

2024年1月27日（土） 全国路面電車サミット懇親会 19:00～

2024年1月28日（日） 全国路面電車サミット本会議 9:00～14:00

（同時期の1月26日（金）～27日（土） LRT都市サミット宇都宮 2024 開催）

30年の検討の末、宇都宮市では国内2都市目の本格的LRTが開業した。世界ではLRT新設都市は宇都宮が世界で214都市目（服部重敏氏調べ）となる。また超低床電車の普及は1997年熊本導入以来26年が経過しても、全国704輛中174輛（2022年末ラクダ調べ）にとどまり、電停のバリアフリー化も遅れている。私達はこの機会にLRT開業によって劇的な変化を遂げた宇都宮に集い、日本の路面電車の質的改善や、LRTの新設があまり進まなかったかを考え、地域公共交通を考える論議の中で、ともすればややおざなりにされてきた「都市交通の改革」を、宇都宮の事例を機に全国へ広めるための論議を深めたい。

■主催：全国路面電車サミット 2024 宇都宮実行委員会 共催：全国路面軌道連絡協議会  
後援（予定）：国土交通省、宇都宮市・芳賀町  
協力：新交通システム推進議員連盟（LRT推進議連・国会超党派）

■幹事団体 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15、 090-3743-4778 岡

■問合せ [romendenshasummit2024@gmail.com/](mailto:romendenshasummit2024@gmail.com/)

■申込み <https://forms.gle/H9Q7f34A12v6L74G9> →→→→→→→→→→



## スケジュール

### ■1月27日(土)

19:00 全国路面電車サミット懇親会 会費 5000 円 ライオンズヘッド駅東口店 (050-5282-3622)  
JR 宇都宮駅東口徒歩 2 分、ホテルサンシャイン 1 階、宇都宮市東宿郷 2-3-3、  
国会議連挨拶、事業者代表挨拶、乾杯など、各団体・事業者のエール交換

### ■1月28日(日) 全国路面電車サミット本会議、ライトキューブ宇都宮大会議室(宇都宮駅東口隣接)

参加費 2000 円

9:00 開催挨拶、全軌協・事業者挨拶及び近況報告  
9:20 講演「宇都宮ライトラインと市民運動」 奥備一彦(雷都レールとちぎ代表)  
9:50 愛好支援団体それぞれの近況報告 トピックのある6団体×5分  
10:20 ブレークタイム、各団体パネル展示で交流会  
10:50 パネル討論「ライトラインから都市交通改革を全国へ」 どうして出来なかった日本のLRT 4  
2002 2003 2006 年開催の「どうして出来ない日本のLRT」 FCC サロンをふまえて

司会 松原光也(RACDA 高岡、名古屋大学環境学研究科研究員)

基調報告 太田恒平(トラフィックブレイン代表取締役社長) 交通分析

基調報告 何 功(一般財団法人 計量計画研究所 / IBS 都市地域・環境部門 研究員) 制度

パネラー 服部重敬(一般財団法人 地域公共交通総合研究所研究員)

古池弘隆(宇都宮共和大学シティライフ学部特任教授)

講評 本田 豊(富山大学都市デザイン学部教授) 富山・高岡の取組みをふまえて

12:50 サミット宣言、~14:00 ランチ余韻交流タイム

### ■全国路面電車サミットとは

1993年(平成5年)7月に札幌市で全国の路面電車愛好支援団体と事業者の代表が一同に会し、「市電愛好団体サミット」が開催された。サミットでは路面電車をとりまく課題、問題等について意見交換を行いながら、路面電車の持つ利点を見直し、公共交通機関としての役割、活性化等について議論を深め、路面電車の今後のあり方について様々な提言をした「サミット宣言」を取りまとめた。

以後ほぼ2年ごとに路面電車運行都市において開催されてきた。6月10日の「路面電車の日」も第3回路面電車サミット広島での提言を受けて制定され、日本記念日協会にも登録されている。

路面電車サミットの開催は、回を重ねるごとに国や各地の地方自治体や市民の路面電車に対する関心を高めることになり、欧米のLRTの流れも紹介しながら、高齢化社会への対応や地球温暖化、交通渋滞、中心市街地の衰退等の都市問題に対する対応策を毎回の「サミット宣言」等の形で示している。国会において設立されたLRT推進議連や国土交通省とも連携を行なっている。しかし、日本では一時LRT新設を検討する都市が70にも及んだものの、現時点における本格的なLRTの新規開業は富山・宇都宮の2都市に留まっており、LRT的な要素を含んだ既存の鉄軌道の改善例も、広島・福井など、決して多くない。

「路面電車サミット」は市民協働による交通まちづくり系会議の先駆となり、その後に相継いで開催される事になる「バスマップサミット」、「人と環境に優しい交通を考える全国大会」などと連携し、交通まちづくり運動の幅広い交流の場となっている。近年は「LRT都市サミット」の開催に合わせて開催している。

### ■全国路面電車サミットの開催歴

第1回 札幌市(1993)	第5回 熊本市(2001)	第9回 福井市(2008)	第13回 松山市(2018)
第2回 広島市(1995)	第6回 函館市(2003)	第10回 富山市(2010)	第14回 札幌市(2019)
第3回 岡山市(1997)	第7回 高知市(2004)	第11回 大阪・堺(2012)	第15回 長崎市(2022)
第4回 豊橋市(1999)	第8回 長崎市(2006)	第12回 鹿児島市(2015)	